



ミニトマト編



病害虫注意報
2017年8月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

病害虫にご注意ください!!

トマト黄化病(ToCV)



症状は葉脈間の黄化、進行するとえそ症状が発生します。中下位葉に出やすく、マダネムシ欠乏症と似た症状です。コナジラミ類(オシタ・ハコ)がウイルスを媒介します。

感染が疑わしい株は速やかに
除去しましょう!

気になる症状は診断室でお調べします!

トマト黄化葉巻病(TYLCV)

ウイルスによる病気で、外コナジラミ(バイタイプB、Q)によって媒介されます。ウイルス病は、発病してしまうと治療する術がありません!



トマト茎えそ病(CSNV)

アザミワ類が原因ウイルスを媒介し感染した株は治りません。主な症状は茎・葉・果実への黒色のえそ症状、最終的に枯死に至ります。愛知県未発表。

発生初期から化学的・物理的防除をしっかりと行っていきましょう!
耐病性・抵抗性品種であっても定期的な防除を行うことをお勧めします!

今月のおすすめ薬剤

コナジラミ類・アザミウマ類防除おすすめ薬剤
ハスモンヨトウ・オオタバコガの発生にも注意しましょう!

モベントフロアブル 2,000倍 前日/3回 毎30日 散布 ※灌注1,000倍 50ml/株 育苗期後半/1回 毎45日 総使用回数3回以内	コナジラミ類、アブラムシ類 アザミワ類、トマトヒゲナメ
ベストガード水溶剤 1,000~2,000倍 前日/3回 毎10日以上	コナジラミ類、アブラムシ類、アザミワ類
カウンター乳剤 2,000~3,000倍 1番花の開花まで/4回 毎1日	ハスモンヨトウ、オオタバコガ、コナジラミ類 ハダカバエ類(2,000倍) アザミワ類(2,000倍)
プレオフロアブル 1,000倍 前日/2回 毎1日	ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ハダカバエ類
フェニックス顆粒水和剤 2,000~4,000倍 前日/2回 毎1日	ハスモンヨトウ、オオタバコガ

新資材紹介

圃場に吊るすだけの高温対策!

すずみどり

萎れ・葉焼け・茎細り軽減!
花芽分化異常の軽減!

【使用量】

100㎡あたり1-2錠
※10-20錠/10a
効果はおおよそ1ヶ月
(平均25℃程度の場合)

おすすめ資材

酸欠を防ぎ根の動きを促す!

NEW-SB酸素

初期の活着時や高温期に
灌水処理がお勧め!

5~10kg/10a
7~10日おき灌水処理



おすすめ薬剤

灌注専用剤

ベリマークSC

- 適用害虫
コナジラミ類、アブラムシ類、ハダカバエ類
アザミワ類
- 使用倍率/使用量
400倍/ 25ml/株 灌注
800倍/ 50ml/株 灌注
- 使用時期/使用回数
育苗期後半~定植当日/1回
- ハチ影響日数 1日

